推進差無例

発生後、あなたは どのような行動を取りますか?

愛媛県総合防災訓練から

特集1 防災を学ぶ・生かす

避難所の空間は 1 人 2 m²

個人のスペースは、寝転ぶのがやっ との大きさの2mg。体験者からは「体 が痛い。1時間いるのが精一杯」と の声も聞かれた。



◆ 次のページへ続く

材料(土台2個分)



Check 5

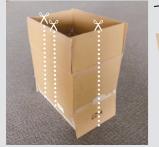
- □ 各地区の自主防災組織の活動に参加して、日ごろ から防災のことを勉強している
- □ 地区内で情報収集や食糧調達など役割分担を決め て、それらをみんなで共有し、協力し合える体制が 整っている
- □ 居住、福祉や医療など、スペースの住み分けがあ る避難所が設営できる



段ボール 3 箱、ガムテープ、はさみ (カッター) ※③の写真のようにスペースを作るには、土台に差し込

段ボール仕切りの作り方

① 開いた段ボールの点線部分を切る。反対側 も同じように切れば、土台が4つできる



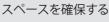


② 土台を三角形に折り、ガムテープで留める





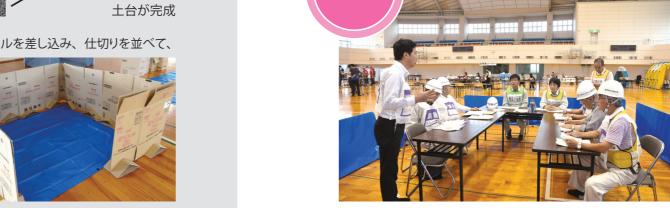
③ 土台の矢印の場所に段ボールを差し込み、仕切りを並べて、







※写真は 2 人分 (4 m)





□正確な情報を入手して焦らずに避難

携帯電話の「エリアメール」や「緊急速報 メール」をはじめ、テレビやラジオから公 共団体が発信する情報を入手して、正確 な情報に基づいて落ち着いて避難しよう。

Check 2

避難所に到着したら、名前や住所を記録。 「逃げ遅れている人はいないか」

Check 4

□ 災害時の家族との連絡方法を確認している

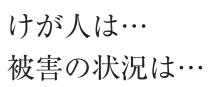
□ 近所の人との交流があり、いざというときも 連絡が取れる



Check 3

□安全で動ける服装を

ヘルメットや靴などで自分の体を 守り、動きやすい服装で避難する ことが大切。準備しておこう。



代表者が避難情報の確認と対策を協議。 不自由な生活が強いられる避難所での 生活では、少しでもみんなが快適に過 ごせるよう、避難の状況を踏まえて場 所を振り分け、ルールなどを決めなけ ればならない。



5 2014-10 ❖ 広報 まさき



そのとき、公的な機関の動きは

「公助」の訓練を振り返る

皆さんが避難所設営の訓練を行っていたとき、 行政、消防署などの公的な機関も 同様に訓練を行っていました。 訓練の様子を写真で振り返ります。

行政、消防署、消防団など各機関

が連携を図り、今後の対策を検討

一人でも多くの 尊い命を 救うために…







簡易トイレ、非常食や手の洗い方を確認

食糧は足りるか… 衛生面は大丈夫か… 避難所で暮らす上で 課題は山積みだ

高齢者、障がいのある人、体調の急変者は… 特別な配慮が必要な人への対応は





福祉避難所へ

健康診断の結果、一般の避難所では生活に支障が あると判断された人は福祉避難所へ移動 ※福祉避難所は最初から避難所として利用する場 所ではなく、町が被害状況などを見て、受け入れ の支援を行う

Check 6

□ 災害時要援護者の登録を行い、地区の人に自分(家 族) には特別な配慮が必要だということを伝えている

□ 特別な配慮が必要である人の避難所への受け入れや 支援の方法を地区内で検討している

災害時要援護者って?

災害が発生(恐れを含む)したときに、重度の障がい者やひ とり暮らしの高齢者などを支援します。対象など詳しくは、 ホームページをご覧になるか、健康課 ☎ 985-4205 (高齢者)、 福祉課 ☎ 985-4112 (障がい者)までお問い合わせください。

清水勝義さん

「今年は学ぶことができるコーナーが多くあって勉 強になりました」「訓練は毎年進化しているように 感じます。新しいことが分かって良かったです」

訓練終了